

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：医療保健子ども福祉病院常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・ コロナ後も病院における面会制限が続いていることについて問題提起する視点で重点調査項目に掲げて委員会において調査できていることは有意義である。

○年間活動計画について

《重点調査項目》

- ・ 各委員の関心事項も含めて、中身のある項目を設定できており、重点調査項目に沿った調査を実施することができた。

《県内外調査》

以下のとおり、重点調査項目に直結する内容について現場を訪問して声を聴き、三重県として参考にして、議会活動に反映することができる調査ができた。

- ・ いなべ市において、妊産婦に寄り添った産後ケアの取組など、「みえ子ども子育て応援総合補助金」の活用の好事例として、地域で子どもを産み育てるための対応を現場で調査できたのは有意義であった。
- ・ こどもアドボカシーセンター浜松で、子どもの意見表明について専門的に取り組んでいる方の声を聴けたのは有意義であり、アドボケート養成活動等、三重県としても参考にできる取組を調査できた。
- ・ 静岡市立静岡病院における診療体制が非常に参考になった。
- ・ 静岡県における、東西に広い県における周産期医療体制整備に係る調査は、人口減少の影響により出産する施設が限られてくる中で、三重県においても参考にできる調査となった。

○その他

- ・ 重点調査項目とは異なるが、三重県認知症施策推進計画や三重県ギャンブル等依存症対策推進計画など、下半期は、各種計画策定に係る調査にも力を入れ、より良い成果を得られるように取り組みたい。